

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 10 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2012

課題番号：22520449

研究課題名（和文）

中国語の近代「国語」への進化に関する総合的研究：欧化文法と日本語の影響を中心に

研究課題名（英文）

Research on the development and evolution of Modern Chinese :Centre on Europeanized preposition and Influence of Japanese

研究代表者

沈 国威 ( SHIN KOKUI )

関西大学・外国語学部・教授

研究者番号：50258125

研究成果の概要（和文）：

中国語は、19世紀末までの近代語から如何に20世紀五四運動以降の現代語へと成長していったかという問題意識のもとで、以下の現象を取り上げ、中国語の近代化の過程における異言語による影響はどのようなものであったかを明らかにする。

- 現代語彙体系の形成：学術用語の成立、語の多音節化、合同語素類義語群（改、改革、改善、改良、改変、改進、）の出現
- 形式動詞（進行、加以...）、二音節前置詞（对于、关于、作为...）の発生と連体修飾成分の複雑化

研究成果の概要（英文）：

How the Chinese language developed from the late 19th century's to that after the May 4th Movement? Proceeding from this point, this essay tries to illustrate the role that foreign words had played in the modernization of Chinese language by the using of the following examples.

- The forming of Chinese modern lexical system: including the forming of academic vocabulary, polysyllabic words, and the forming of group of near synonyms which include at least one same morpheme（改、改革、改善、改良、改変、改进 etc）.
- The forming of dummy verbs (进行、加以) and disyllabic prepositions (对于、关于、作为), and the complication of attributive elements.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,600,000	480,000	2,080,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学

キーワード：国語 言語の近代化 近代語彙の形成 言語接触 日中語彙交流

## 1. 研究開始当初の背景

現代中国語は、1919年の五四新文化運動以降、「言文一致」によって特徴づけられ、成立したものと考えられている。これまでに現代語と近代語は、それぞれ共時的、通時的な観点に比重が置かれ研究されてきた。しかし、そこには近代語から如何に現代語へと成長していったかという視点、及びそれに基づいた研究が必ずしも存在していなかった。中国語の近代化は外部要因によって加速化されたプロセスであるのに、研究者が内部からしか中国語を見なかったことと大いに関係がある。近年、言語形式と表現内容の近代的变化に研究者の関心が集まろうとしている。中国語が前近代的なものから近代国家の「国語」として成長していく過程を言語学的に解明することが不可欠である。これには中国語とそれをめぐる外部環境の影響という新しい視座が必要である。申請者はまさにその点から現代中国語の形成史を考察しようとする。申請者はこの20年近く、中国語に与えた日本語の影響を研究してきた。また研究分担者の内田慶市と共に、西洋人による中国語の文献資料を調査し、その現代中国語成立過程における役割を追究してきた。このような言語間のインターアクションの観点に立脚した本研究は、17世紀から19世紀初頭までの中国語のあり方と変化を周辺諸言語：宣教師資料、日本語資料から「近代中国語」とは一体どういったものであったのかを明らかにし、さらには、それが「現代中国語」に如何につながっていくかを解明することをその主要な研究目的としている。本研究により、現代中国語の形成に関与する諸要素の影響作用、近代中国における「国語」の概念の確立および現代中国語の「普通話」の形成・発展一側面が明らかになることが期待できる。

## 2. 研究の目的

中国語は、19世紀末までの近代語から如何に20世紀五四運動以降の現代語へと成長していったかという問題意識のもとで、以下の現象を取り上げ、中国語の近代化の過程における異言語による影響はどのようなものであったかを明らかにする。

(1) 現代語彙体系の形成：学術用語の成立、語の多音節化、含同語素類義語群（改、改革、改善、改良、改変、改進、）の出現

(2) 形式動詞（進行、加以…）、二音節前置詞（对于、关于、作为…）の発生

(3) 連体修飾成分の長大化

(1) (2) は日本語語彙の借用、(3) は西洋言語の直訳と大いに影響関係がある。本研究はそのような事実の背後にある社会的、

言語的の動機付けと原理を明らかにすることを目指す。本研究の成果により、現在進行形にある中国語近代化に関する研究は大いに促進されるものと確信している。

## 3. 研究の方法

本研究計画の主な研究方法は以下の通りである。

(1) 『中国語言生活緑皮書 2008』の付録「現代漢語常用詞表」（草案）にある現代中国語常用語彙 56000 語について、日中同形語の数量、意味的分布等の観点から調査する。使用率上位 2000 語について、語源記述を通じて、日本語の影響の実態を解明する。

(2) 『人民日報データベース』を利用して、1949～2008 年間の形式動詞「進行」、二音節前置詞「对于」等について通時的変化を捉える。

『中国早期白話報彙編』を利用して、西洋言語を翻訳ソースとして持つ記事、小説類について、連体修飾節の実態について調査・分析する。

## 4. 研究成果

下記の研究論文、書籍からも分かるように言語現象、語彙に対する調査、記述により、中国語の近代国語への進化の道程において作用する諸要因について、初歩的にそれを明らかにすることができた。

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

[雑誌論文] (計 49 件)

1. “形式”與“精神”的拮抗—重讀胡適《文学改良芻議》(一)、2013 年、沈国威、東アジア文化交渉、第 6 号、43～55 頁、査読なし
2. 近代中國人編的英漢字典的譜系、2013 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究、第 6 号、3～16 頁、査読なし
3. 衛三畏在漢語語言學上的貢獻、2013 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究、第 6 号、17～26 頁、査読なし
4. 「野蛮」考源、2012 年、沈国威、東亞觀念史集刊 (台湾)、第 3 期、383～403 頁、査読あり
5. 詞源探究與近代關鍵詞研究、2012 年、沈国威、東亞觀念史集刊 (台湾)、第 2 期、263～282 頁、査読あり
6. 日語借詞的研究：回顧與前瞻、2012 年、沈国威、日語學習與研究、第 3 期、1～9 頁、査読あり
7. 新名詞與辛亥革命時期之中国、2012 年、沈国威、東アジア文化交渉研究、第 8 号、195～206 頁、査読なし
8. 嚴復與其門生熊元鏗、2012 年、沈国威、東アジア文化交渉研究、第 5 号 231～

- 223 頁、査読なし
9. Modern Keywords and the Modern History of Ideas, 2012, 沈国威, Cultural Interaction Studies in East Asia: New Methods and Perspectives, pp. 171-182, 査読なし
  10. 開創域外漢語研究の新局面、2012 年、内田慶市、東アジア文化交流研究・別冊、第 8 号、141～156 頁、査読なし
  11. 白日昇漢譯聖經攷、2012 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究・第 5 号、191～198 頁、査読あり
  12. 嚴復《英文漢詁》札記、2012 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究・東アジア文化研究科開設記念号、25～34 頁、査読なし
  13. 与“您”有關的問題、2012 年、内田慶市、國際漢學（大象出版社）、第 22 輯、191～218 頁、査読あり
  14. 白日昇漢訳聖經考、2012 年、内田慶市、上海人民出版社《西学東漸与東亜近代知識的形成和交流》、91～100 頁、査読あり
  15. 嚴復と訳語：科学、2011 年、沈国威、東西学術研究所創立 60 周年記念論文集、関西大学出版部、143～171 頁、査読なし
  16. 近代關鍵詞與近代觀念史、2011 年、沈国威、『印刷出版與知識環流：16 世紀以後的東亜』、上海出版社、423～432 頁、査読なし
  17. 新名詞と辛亥革命期の中国……日本の影響を中心に、2011 年、沈国威、藤原書店：『辛亥革命と日本』、王柯編、237～259 頁、査読なし
  18. 近代における日中語彙交流について、2011 年、内田慶市・中谷伸生編『東アジアの言語・文化・芸術』、301～314 頁、査読なし
  19. 關於清学部編『簡易識字課本』（1909）、2011 年、沈国威、韓国：学古房、209～233 頁、査読あり
  20. 理論與実践：近代漢外辞典的誕生、2011 年、沈国威、学術月刊、2011 年 4 月号、121～130 頁、査読あり
  21. 嚴復與譯詞：科学、2011 年、沈国威、翻譯史研究、復旦大學出版社、第一輯（2011）114～137 頁、査読あり
  22. 王肇鈺の『訳文須知』について、2011 年、沈国威、『或問』、第 20 号、27～134 頁、査読なし
  23. 香港英華書院の出版物在上海和上海—以『遐邇貫珍』、『六合叢談』為中心、2011 年、沈国威、上海人民出版社：『出版文化的新世界：香港與上海』、201～219 頁、査読あり
  24. Translating Western concepts by Creating New Characters: A Comparison of Japanese and Chinese attempts、2011 年、沈国威、Vol. 2, pp. 51-61、査読なし
  25. 現代漢語“欧化語法現象”中的日語因素問題、2011 年、沈国威、東アジア文化交渉研究・別冊第 7 号、141～150 頁、査読なし
  26. Chinese language and the Modern: Contemplating Chinese in the East Asian Linguistic Environment、2011 年、沈国威、A Selection of Essays on Oriental Studies of ICIS, ICIS Oversea Publication Series Vol. 1, pp. 93-102、査読なし
  27. 秘蔵は死蔵なり—図書館と文献公開のあり方、2011 年、内田慶市、東方、360 号、7～11 頁、査読なし
  28. 關於語言接觸和“新興語法”、2011 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究・別冊第 7 号、35～42 頁、査読なし
  29. 19 世紀傳教士江沙維的對漢語的看法—葡萄牙遣使會的語言政策之一、2011 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究、第 4 号、229～241 頁、査読あり
  30. The Peripheral Approach in Chinese Linguistics as an Area of Cultural Interaction Studies、2011 年、内田慶市、pp. 123～137、査読なし
  31. 關於馬禮遜的語法論及其翻譯觀、2011 年、内田慶市、『架起東西方交流的橋梁』、外語教學與研究出版社、18～27 頁、査読あり
  32. 近代西洋人漢語研究的價值、2011 年、内田慶市、『清代民國漢語研究』學古房、39～52 頁、査読あり
  33. 域外漢語研究的新段階、2011 年、内田慶市、関西大学東西学術研究所創立 60 周年記念論文集（関西大学出版部）、19～33 頁、査読なし
  34. イソップ東漸—翻訳とは何か、2011 年、内田慶市、東アジアの言語・文化・芸術（関西大学文学部）、127～162 頁、査読なし
  35. 再論馬禮遜《神天聖書》的成書過程、2011 年、内田慶市、『印刷出版與知識環流—十六世紀以後的東亜』、出版博物館等編、上海人民出版社、3～12 頁、査読あり
  36. 嚴復と清末学部編『国民必読課本初稿』（1910）、2010 年、沈国威、孫青 共著 雄松堂出版、松浦章編『東アジアにおける文化情報の発信と受容』、査読なし、31～54 頁
  37. 清末の国民必読書について——形式と内容の間で、2010 年、沈国威、白帝社、沈国威・内田慶市 共編著『近代東アジアにおける文体の変遷——形式と内実の

- 相克を超えて』、233～272 頁、査読なし
38. 異文化受容における漢字の射程——日本の蘭学者と来華宣教師の場合、2010 年、沈国威、アジア文化交流研究、第 5 号、231～251 頁、査読なし
  39. 中国語と近代、2010 年、沈国威、外国語学部紀要、査読なし、第 2 号、119～129 頁
  40. 日語難嗎、2010 年、沈国威、外国語学部紀要、第 2 号、1～10 頁、査読なし
  41. 日本研究専門家学者的揺籃：“大平班”、2010 年、沈国威、大潮涌動：改革開放與留学日本、社会科学文献出版社、第 1 卷 79～87 頁、査読なし
  42. 日本の術語、中国の術語——その歴史的歩みと展望、2010 年、沈国威、明治書院刊・月刊『日本語学』、2010 年 12 月号、36～45 頁、査読あり
  43. モリソンが元にした漢訳聖書——新しく発見されたジャン・バセ訳新約聖書稿本、2010 年、内田慶市、アジア文化交流研究、第 5 号、219～230 頁、査読あり
  44. 近代西人漢語（語法）研究史の近況和課題、2010 年、内田慶市、外語教学与研究出版社、『跨越東西方的思考』李雪濤等編、371～377 頁、査読なし
  45. 《語言自邇迄集》源流及其在日本の伝播、2010 年、内田慶市、《跨越空間的文化：16-19 世紀中西文化的相遇與調適》、復旦大學歷史地理研究中心、東方出版中心、46～62 頁、査読あり
  46. 文化交渉学と言語接触——翻訳とは何か（文藝学会公開講演会・筆録）、2010 年、内田慶市、文藝論叢、第 75 号、査読なし
  47. 鄭其照の玄孫からのメール、2010 年、内田慶市、或問、第 19 号、131～146 頁、査読なし
  48. 馬禮遜参照の漢譯聖書——新發現の白日昇譯新約聖經稿本、2010 年、内田慶市、《自上帝說漢語以來——《和合本》聖經九十年》謝品然 曾慶豹合編、CABSA 研道社、53～68 頁、査読あり
  49. 近代西洋人的漢語——他們的漢語語體觀、2010 年、内田慶市、東アジア文化交渉研究、第 3 号、199～212 頁、査読あり

[学会発表] (計 7 件)

1. 詞源探求與近代關鍵詞研究、沈国威、東アジア文化交渉学会第 4 回年次大会、高麗大学 2012 年 5 月 12 日
2. 日本語との遭遇——梁啓超の場合、沈国威、第 10 世界日本語教育研究大会、天津外国語大学 2011 年 8 月 20 日
3. 衛三畏在漢語語言學上的貢獻、内田慶

- 市、國際シンポジウム：19 世紀的東亞與美國——紀念衛三畏誕生 200 周年國際學術討論會、北京外大 2012 年 12 月 14 日
4. 近代中國人編的英漢字典的譜系、内田慶市 “中華書局與中國近現代文化” 國際學術研討會、上海復旦大学 2012 年 7 月 1 日
  5. 關於西洋人的漢語研究里的漢語本身的可靠性——以衛匡國、江沙維、威妥瑪、戴遂良等為例、内田慶市、東アジア文化交渉学会第 3 回年次大会、武漢華中師範大学 2011 年 5 月 7 日
  6. 19 世紀傳教士江沙維的對漢語的看法——葡萄牙遣使會的語言政策之一、内田慶市、澳門語言規劃與語言政策研究國際シンポジウム、澳門理工学院 2010 年 11 月 24 日
  7. 漢字文化圈近代關鍵詞研究緒論——以“科学”為例、沈国威、東アジア文化交渉学会第 2 次大会、台湾大学 2010 年 5 月 7 日

[図書] (計 11 件)

1. 『鄭其照字典集成影印と解題』、内田慶市、沈国威編、2013 年 4 月、東アジア文化交渉学会、全 386 頁
2. 『近代日中語彙交流史』(沈国威著、笠間書院、2008 年改訂新版) 韓国語訳、2012 年 5 月、高麗大学出版部、李漢燮ら訳、全 512 頁
3. 『中日遠程講座擷英録』、沈国威、内田慶市ほか共編、2012 年 3 月、関西大学文化交渉学教育研究中心、全 320 頁
4. 『文化の翻訳あるいは周縁の詩学』、内田慶市、近藤昌夫ほか共著、2012 年、水声社、全 233 頁
5. 『東アジアの言語・文化・芸術』、内田慶市、中谷伸生編著、2011 年、丸善出版、全 396 頁
6. 『『新爾雅』附解題・索引』、沈国威、2011 年 4 月、上海：辞書出版社、全 320 頁
7. 『近代英華華英辞書解題』、沈国威編著、2011 年 3 月、関西大学出版部、全 248 頁
8. 『中日同形語小辞典』、沈国威、紅粉芳恵、韓一瑾ほか共編著、2011 年 2 月、白帝社、全 200 頁
9. 『近代東アジアにおける文体の変遷——形式と内実の相克を超えて』、沈国威、内田慶市共編著、2010 年 3 月、白帝社、全 276 頁

10. 『近代中日詞彙交流研究——漢字新詞的創製、容受與共享』、沈国威、2010年2月、北京：中華書局、全582頁
11. 『文化交渉学と言語接触—中国言語学の周縁からのアプローチ』、内田慶市、2010年、関西大学出版部、全357頁

〔その他〕

ホームページ等

URL：<http://www.ch-texts.org>；

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

沈 国威 (SHIN KOKUI)

関西大学・外国語学部・教授

研究者番号：50258125

### (2) 研究分担者

内田 慶市 (UCHIDA KEIICHI)

関西大学・外国語学部・教授

研究者番号：60115293